# 日本共産党平塚市議会議員団



## 市民のいのちを守るため平塚市の災害対策について

髙山 和義 議員

**問** 平塚市耐震改修促進計画について、中間管理理値として、令和7年度の耐震化率を95％と設定しているが、状況を伺う。

**防災・危機管理監** 概ね達成する見込みである。

**問** 12年度までに耐震性が不十分な住宅を概ね解消するため、補助金の上乗せを継続する考えを伺う。

**まちづくり政策部長** 現時点では、上乗せの予定はない。共同住宅の耐震化などで啓発を進めていきたい。

**問** 災害時の指定避難所や福祉避難所の受け入れ態勢について伺う。

**防災・危機管理監** 定期的に訓練を行い、トイレやキッチン、ベッドの充実のほか、要配慮者に対応した備蓄を拡充している。

**問** 妊産婦や乳幼児などの母子避難所の対策を伺う。

**防災・危機管理監** 母子も含めて要配慮者と考えており、プライバシーに配慮した備蓄の増強や訓練を実施していく。

### 県の津波災害警戒区域指定について

**問** 8月に県の津波災害警戒区域指定に向けた、住民説明会が開催された。指定に至った経緯を伺う。

**防災・危機管理監** 津波対策の充実を重点対策とし、平成29年3月に最大クラスの津波に対応したハザードマップを作成した。津波対策の更なる推進を図るため、県と協議し、指定されることになった。

**問** 津波災害警戒区域の指定は、市の要請か伺う。

**防災・危機管理監** 県と市で協議して指定に至った。

**問** 指定がこの時期になった理由を伺う。

**防災・危機管理監** これまで本市は、避難することを第一優先に訓練を行ってきた経緯もあり、ここで指定に至った。

**問** 説明会の内容は、庁内で共有されたのか伺う。

**防災・危機管理監** 災害対策課が中心に行っている。

**問** 最大津波高の想定が9・6メートルから10メートル超に引き上げられた理由を伺う。

**防災・危機管理監** 浸水想定区域について変更はないが、建物への衝突による「せり上がり高」が加味され、数値に差が生じたと思われる。

**問** 市は浸水想定に全く関知していないのか伺う。

**防災・危機管理監** 数値については県が算出し、市に提供されるものである。

**問** 説明会について、庁内で共有しなかったのはなぜか伺う。

**防災・危機管理監** 指定に関する事務の所管は、災害対策課である。

### 水害への対応

**問** 市内11か所のアンダーパスに水深表示をするべきと考えるが、いかがか。

**土木部長** 国が新たなガイドラインを検討しており、それを確認していきたい。

### ひらつかシーテラスの環境調査

**問** 飛砂や風、塩の調査報告の方法について伺う。

**都市整備部長** 公表時期や方法はこれから検討する。

日本共産党平塚市議会議員団 所属議員



松本 敏子 議員

# 無所属



## 市内小・中学校トイレの環境整備の充実を

佐藤 由美子 議員

**問** 市内小・中学校における生理用品の配備について、女子トイレに常設されているのか、保健室での受け取り対応となるのか、運用状況を伺う。

**学校教育部長** 五領ヶ台分校を除く市内全ての小・中学校で、学校ごとに決めた女子トイレに生理用ナプキンを常設している。

### コミュニティバスの拡大を

**問** 南側地域から、平塚市民病院や市役所に行くには、平塚駅南口から北口へ移動し、更にバスを乗り継ぐ必要がある。市はこの状況をどのように認識しているのか伺う。

**まちづくり政策部長** 南側の地域は、駅までバスや徒歩、自転車などで比較的短時間で行きやすい地域と認識している。また、駅からは、市民病院行きのバスが複数運行されており、利便性は一定程度確保されていると認識している。

### 中央公民館休館後の対応は

**問** 休館決定により、代替施設の確保が困難であることや施設利用料が高いこと、希望する日程が取れないこと、更に音響や舞台機能の不足など、利用団体からどのような相談や要望があったのか伺う。

**社会教育部長** 大ホール建設の要望のほか、通常の活動については、地区公民館などへ移行している。一方で、中・大規模ホールの料金や、予約方法に苦慮する声もある。

無所属議員



小泉 春雄 議員

## 会議録は11月下旬に公開

本会議や各常任委員会などでの質問や答弁などは、会議録にまとめて公開しています。

９月定例会の会議録は11月下旬から公開します。市議会ホームページや各公民館、各図書館などでもご覧になれます。



# 予算決算常任委員会各分科会（予算）の審査概要

予算決算常任委員会に付託された補正予算５案件については、各所管の分科会で審査しました。主な質疑を紹介します。

## 総務経済

**○議案第82号 令和8年度平塚市一般会計補正予算**

**問** 農業振興費の新規就農者育成事業について、就農初期段階の認定新規就農者を支援するための増額だが、計上されている40万円では困難と考える。市独自の具体的な就農支援策を伺う。

**答** 補正予算を計上した理由だが、国の経営開始資金の単価増額に伴う差額分である。市では新規就農者向けの資機材導入や家賃補助など、独自の経済的支援を実施している。併せて、毎週水曜日にＪＡ湘南と連携したワンストップ窓口を開設し、新規就農者を総合的に支援していく。

## 都市建設

**○議案第82号 令和8年度平塚市一般会計補正予算**

**問** 総合公園費の総合公園管理運営事業について、総合体育館温水プールの競泳用タッチプレートなどを更新するが、現在使用している機器の使用年数や劣化状況を伺う。

**答** タッチプレートは、平塚総合体育館が開設された平成３年３月に導入したもので、購入から35年が経過している。経年劣化による故障などがあり、修理をしながら対応してきたが、使用できないものが数枚出てきてしまった。大会運営に支障を来たしてしまうため、更新するものである。

## 教育民生

**○議案第82号 令和8年度平塚市一般会計補正予算**

**問** 戸籍住民基本台帳費のマイナンバーカード交付事業について、駅前市民窓口センターに電子証明書更新窓口を設置するため、増額補正をするが、内容と目的、また、この時期に補正予算を計上した理由を伺う。

**答** 駅前市民窓口センターに、平日９時から17時までマイナンバーカードの更新窓口を設置する。令和９年度に電子証明書の更新対象者が急増することを見据え、市民の利便性向上を図り、混雑のピーク前に早期の体制整備を行うため、今回補正予算を計上した。

## 環境厚生

**○議案第85号 令和8年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算**

**問** ひらつかまち歩きプロジェクトについて、事業の概要を伺う。

**答** 市民参加型のまち歩きアプリを活用して、認知症の本人や家族、地域住民が、実際に地域を歩いて認知症に優しいまちの特徴や生活の中のバリア、地域における支え合いの実態などを明らかにするものである。

**問** 認知症施策推進計画の策定予定について伺う。

**答** 第10期平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画【第10期】）に包含する形で、策定予定である。